



山姥切国広を作刀させた『長尾顕長』ゆかりのツアー

1 目 的

名刀「山姥切国広」は、足利領主長尾顕長のために鍛刀されたもので、かつて顕長が北条氏直から拝領した備前長船長義の刀を写したものと伝えられています。

刀を作らせた長尾氏のルーツを知ると共にそのゆかりの地をめぐり、作刀の時代を感じていただくとともに戦国時代の足利をめぐる戦乱の状況と長尾氏の文化功績に注目していただくためにツアーを実施するものです。

2 開催要領

- | | |
|-----------|---|
| (1) 名 称 | 山姥切国広を作刀させた『長尾顕長』ゆかりのツアー |
| (2) 実施期日 | 平成 29 年 3 月 18 日 (土)、25 日 (土) |
| (3) 主 催 | 一般社団法人足利市観光協会 |
| (4) 募集人員 | 各回 先着 23 名 (最少催行人員 15 名) ※先着順
■最少催行人員に満たない場合はツアーの催行を中止することがあります。 |
| (5) 参加料 | 3,300 円/人
■ツアー当日の集合時に徴収しますので、弊社係員にお支払いください。 |
| (6) 特 典 | 足利市立美術館特別展チケット(優先入場)、史跡足利学校参観券
※抽選で、「今、超克のとき。山姥切国広 いざ、足利。」ポスターが当る! |
| (7) ガ イ ド | (一社)足利市観光協会観光アシスタント
※ バス添乗ガイド 2名同行 |
| (8) コース内容 | 本コースは、堀川国広ゆかりの地 美しき足利市を巡るスタンプラリー」のスタンプ設置個所を巡ります! |

① 集合場所

【午前の部】

8:30 東武伊勢崎線足利市駅 8:45JR 足利駅 8:50 太平記館

【午後の部】

12:40 東武伊勢崎線足利市駅 12:50 太平記館 12:55 JR 足利駅

② 足利長尾氏ゆかりのコース 見学箇所

- ・足利長尾氏の居城 足利城跡 (両崖山城跡)
- ・足利長尾家歴代の菩提寺 長林寺 (長尾氏歴代墓所)
※宝物殿 特別公開 (長尾氏三代の肖像画 (レプリカ))
- ・ゆかりの刀剣資料展開催中 史跡足利学校
- ・足利織姫神社 ・鑱阿寺 ・長尾弁天 (通六丁目巖島神社) ※車中説明

(9) 申込方法

平成 29 年 3 月 1 日 午前 9 時 受付開始!

■下記のメールアドレスに、“山姥切国広を作刀させた『長尾顕長』ゆかりのツアー”申込みと明記の上、参加日 (午前/午後)・氏名・参加人員、乗車場所、携帯電話番号を明記。

※電話での受付は致しませんのでご注意ください。

■ツアー参加受付の可能か否かはメールにて返信いたします。
ただし、受付は先着順とし、募集人員に達した時点で受付を終了し、それ以降のメールの返信は致しませんので予めご了承ください。

東武トラベルシステム Mail: yasu.urino@gmail.com

(10) 旅行企画

栃木県知事 3-694 (有)東武トラベルシステム

栃木県足利市通三丁目 2757 ☎ 0284-22-2303

国内旅行業務取扱管理者 卯月祐子 企画担当者: 売野安和

(11) コース詳細

【午前の部】

時 間	見 学 先	備 考
8:30	東武足利市駅	
8:45	JR 足利駅	
8:50	太平記館	
9:00～10:00	足利城跡（両崖山城跡） ・足利織姫神社	市史跡
10:15～11:15	大祥山 長林寺（長尾氏歴代墓所） （宝物殿）	市史跡、国登録文化財
11:15～11:20	通六丁目巖島神社（長尾弁天）	車中説明
11:20	太平記館 ※以後、徒歩	
11:30～12:10	史跡足利学校	国史跡・日本遺産
12:15～12:30	鑱阿寺（史跡足利氏宅跡）	国史跡・国宝、重文
13:00～	市立美術館	特別展示

【午後の部】

時 間	見 学 先	備 考
12:40	東武足利市駅	
12:50	太平記館	
12:55	JR 足利駅	
13:05～14:00	足利城跡（両崖山城跡） ・足利織姫神社	市史跡
14:15～15:15	大祥山 長林寺（長尾氏歴代墓所） （宝物殿）	市史跡、国登録文化財
15:15～15:20	通六丁目巖島神社（長尾弁天）	車中説明
15:20	太平記館 ※以後、徒歩	
15:30～16:10	史跡足利学校	国史跡・日本遺産
16:15～16:30	鑱阿寺（史跡足利氏宅跡）	国史跡・国宝、重文
17:00～	市立美術館	特別展示

足利織姫神社	国登録文化財
	<p>1300 年余の機場としての歴史をもつ足利。天御鉾命（あめのみほこのみこと）と織女、天八千々姫命（あめのやちちひめのみこと）の二柱を現在の通4丁目にある八雲神社へ合祀。その後、明治12年（1879年）機神山（はたがみやま）（現在の織姫山）の中腹に織姫神社を遷宮した。翌年の明治13年、火災に遭い仮宮のままとなっていたが、昭和8年皇太子殿下御降誕（現在の天皇陛下）を期し、市民ぐるみで新社殿の建造にかかり、昭和12年5月に現在の織姫山に完成、遷宮した。平成16年6月、社殿、神楽殿、社務所、手水舎が国の登録有形文化財となる。平成29年は遷宮80周年にあたる。</p>
足利城跡（両崖山城跡）	市史跡
	<p>藤原秀郷の子孫、成行が築城しこの地を130年間治めたといわれる。文正元(1466)年、享徳の大乱の中、古河公方に対抗する山内上杉氏の代官として長尾景人が足利に入り、観農城を築城した。文明年間(1469-1486)、足利長尾氏の三代、景長のときに観農城からこの両崖山の古要害を修築して本拠を移転した。四代憲長、五代政長は上杉謙信に従い北条氏と各地で転戦したが天正13(1585)年、顕長の代に北条氏に降った。しかし天正十八(1590)年の小田原の役で敗北し両崖山城は廃城、足利長尾氏も断絶した。</p>
大祥山 長林寺（長尾氏歴代墓所）	市史跡、国登録文化財
	<p>長林寺は文安5年（1448）、長尾景人が大見禅竜禅師を招いて開山した足利長尾家歴代の菩提寺で境内には長尾氏歴代墓所があり足利市指定文化財（史跡）に指定されています。</p> <p>【長尾氏歴代墓所：市指定文化財】</p> <p>長林寺本堂の北西、山麓南斜面に、二段の石垣を組み、19基の墓塔をそれぞれ南向きにして東西方向に並べ、中央には石階段を設けています。</p> <p>上段には、8基の墓塔があり、東3基が宝篋印塔、西5基が五輪塔です。</p>
	<p>また、下の11基は全て宝篋印塔が並んでいます。</p> <p>これらの墓塔は、長尾景直（景人の曾祖父）から定次までの長尾氏歴代の墓所です。</p>



通六丁目巖島神社（長尾弁天）



長尾家伝来の守護神として西宮町の長林寺に祀られておりましたが1868年の神仏分離令により当地へ遷座された。
弁財天は古く農耕水運の守護神として良民に福德を与え尚情操とやすらぎをほどこす女神として住民にしたしく弁天様といわれ拝神された。

史跡足利学校

国史跡・日本遺産



いい伝えによると足利荘の代官となった長尾景人が応仁元年（1467）足利学校を現在の場所に移したといわれ、その理由として渡良瀬川の被害を避けること、勸農城（岩井山）下の戦乱を避けたことが考えられる。長尾氏が足利学校の保護活動に熱心であったことは学校の存続を考えるうえで大変重要である。
天正18年（1590）に堀川国広が足利学校で鍛刀したといわれている。

鏝阿寺（史跡足利氏宅跡）

国史跡・国宝、重文



真言宗金剛山鏝阿寺。
鏝阿寺は1196年（建久7）足利義兼の創建。以後歴代足利氏および古河公方家の崇敬と保護を受けたために、同氏関係の寄進状・巻数請取状などがその大半を占める。その他、鶴岡若宮別当・正覚院など鶴岡八幡宮関係、芳春院など後北条氏関係の文書や足利長尾氏関係文書も含まれる。